

財満先生へ

財満義輝教授の本年3月末を持ってのご退職にあたり、先生に心から感謝の念を捧げたく存じます。財満先生の存在無くして人間環境学部が本年度に開設10周年を迎えることは困難でありました。厚く御礼申し上げます。

財満先生は広島大学教育学部高等学校養成課程体育科を卒業され、高等学校と中学校の教員免許を得られた後、同学部心理学科に学士入学、そして卒業され、教育学と心理学ふたつの学問領域の学士となりました。

大学卒業後、広島県立三和高等学校で保健体育の教諭を経験された後、安田女子短期大学講師ならびに広島大学総合科学部非常勤講師を経験され、1980年（昭和55年）に本学商学部に講師（体育実技、体育講義）として着任されました。その後、本学で短期大学および経済科学部教授を歴任され（「健康科学論」、「健康スポーツ実習」、「運動・スポーツ実習」、「野外運動実習」などを担当）、2002年（平成14年）人間環境学部設立に伴い、「心の健康」、「生活環境とストレス」を担っていただく教授としてお迎えすることになりました。2007年（平成19年）よりは「こころの科学概論」、「人間関係論」等も担当いただきました。

臨床心理士（日本臨床心理士資格認定協会）ならびに大学カウンセラー（日本学生相談学会）の資格をお持ちである財満先生は、学生だけでなく、私たち教員にとって、良き理解者・相談相手であり、心のオアシス、拠り所の様な存在でした。常にこやかな対応をされる先生の人柄は誰もが憧れながらも決して届くことのできないものでした。多くの学生が先生を慕い、大学生活で何か悩むことがあれば、まず、第一に相談する方でした。

その一方で、自閉症児、思春期不登校児、精神発達遅滞児や軽度発達障害児が社会へと馴染み、自立的な生活を送ることができることを目指して、精力的に研究に取り組み、その成果を学会等で多数発表されると共に、彼らの社会参画・自立を手助けする実践的な活動にも精力的に取り組みられていました。

この度、御自身の研究ならびに社会活動をさらに推し進めるために本学を退職されることになりましたが、財満先生から私たちが頂いた“人を思いやる心”の大切さと、それを持つために自分自身に厳しくあらねばならないことを、深く胸に刻み、先生をお送りしたいと思います。本当に厚い感謝の気持ちで一杯です。ありがとうございました。そして、これからのご活躍とご健勝を心より祈念しております。

2012年10月31日

広島修道大学人間環境学部長

三 浦 浩 之